

イベント開催報告

2022年9月2日（金）に教育開発支援機構 教育開発・学習支援センターと学務部が主催し、第24回FDワークショップとして、「大学職員のリスキング～自らを高める実践知とは～」をオンラインにて開催しました。今回は小金井事務部研修としても位置付けて実施したため、多くの職員が参加し、リスキングについて実践する方法を考える機会となりました。なお、このイベントは千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ）共催で実施され、千代田区内の他大学職員の参加もありました。

<参加者数：102名（事務職員 94名/教員 2名/その他 2名/他大学職員 4名）>

イベント内容

本イベントでは、教育開発・学習支援センター長の山本兼由・生命科学部教授による開会挨拶のあと、第一部で「DX時代のリスキングの時代～個人としての向き合い方～」をテーマにリクルートワークス研究所主任研究員の大嶋寧子氏による講演が行われました。


第二部では、第一部の内容を受け「大学職員のリスキングを考える」と題し、4-5名のグループに分かれて自己紹介等でウォーミングアップしたあと、自分のスキルの棚卸し等の個人ワークをしました。その後はメインワークとして、各グループが組織で実施するリスキングプログラムを考え、最終的には2会場に分かれて発表を行いました。

第三部では、「情報セキュリティマネジメント・リスク管理の取り組みのご紹介」として、千代田区キャンパスコンソの一員でもある共立女子大学の情報システム課 青木良輔氏より、具体的な取り組み事例をご紹介いただきました。

全体の総括を平山喜雄常務理事、閉会挨拶を小秋元段常務理事よりいただき、最後にZoomのチャット機能を利用して参加者からのコメントも共有しました。

参加者アンケートより

- ◆ **第一部「DX時代のリスキングの時代～個人としての向き合い方～」**
 - ・デジタルツールの使用方法に習熟し、またそれらを活用して、課題解決や新たな価値の創造に取り組む必要についてあらためて実感することができ、仕事の転換に関する意識づけの機会となった。
 - ・急速に日本国内で認識が広まったリスキングについて、知識を得られたことがよかった。
 - ・具体的な大学業界での事例の話もお聞きしたかった。
 - ・従業員側の領域を「使いこなし・変化創出・仕事転換」に整理できたことで、リスキングの概念が身近なものとして認識できるようになった。一方で、小秋元常務理事が指摘されたように、利潤を追求する企業と学校法人とは性格の異なる部分もあるので、その点がリスキングにどう影響するのか気になった。
- ◆ **第二部「大学職員のリスキングを考える」**
 - ・個人ワークとして自分のスキルと職員として求められる①使いこなし②変化創出③仕事転換のリスキングを具体的に挙げるのがなかなか難しかった。
 - ・グループワークでは様々な担当で共通する課題意識を持っていると感じ、各グループで考えたプログラムも実現できそうなものが多く勉強になった。
- ◆ **第三部「情報セキュリティマネジメント・リスク管理の取り組みのご紹介」**
 - ・DXを進める際にセキュリティ面で、データを扱う人の情報リテラシーが重要になってくるので、併せて考えていくべき課題だと感じた。他大学での具体的な取り組みについて何うことができる貴重な機会になった。
 - ・講演のテーマは、所属部署で日々議論にあがるような問題だったため、大学の規模や構成等は異なるとはいえ、他大学の事例を参考に検討の手がかりを模索していくこともポイントになると感じた。
- ◆ **全体を通して**
 - ・DXに対してハードルを感じていたが、今回の講演を経て、まずは身近なところから学びを始めることが重要だと感じた。
 - ・「リスキング」や「情報セキュリティ」の基本的な考え方について大変勉強になった。
 - ・今回の研修を単なる知識として終わらせるのではなく、実際に普段の業務へと落とし込むことが必要だと考えるため、何が使えるかを改めて振り返りたいと思う。



法政大学第24回FDワークショップ

主催：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター/学務部
共催：千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム
(千代田区キャンパスコンソ)

大学職員のリスキング～自らを高める実践知とは～

近年、社会全体でデジタル化(デジタルトランスフォーメーション)の取り組みが進むなかで、大学においても、オンライン授業やハイフレックス授業等、デジタル技術を効果的に活用し、ポストコロナ時代の質の高い効果的な教育を推進することが課題とされています。また、現在、文部科学省で検討している大学教育基準改正案では、「教員組織」を「教育研究推進組織」に改め、専任職員が教員と適切な役割分担の下で協働し、組織的な教育研究活動に参加することがさらに明確に求められます。

このように、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代で、教育のあり方や教育研究推進体制も大きく変わりつつあるなかで、今後大学職員に必要とされるスキルはどのように変化していくのでしょうか。また、この変化に私たちはどのように適応してゆけばよいのでしょうか。

この研修では、大学職員にとって必要なリスキングの内容と実践する方法を考えます。

日時 2022年9月2日(金) 12:30～16:30

開催方法 Zoomによるオンライン開催(URL等は後日ご案内)


対象 法政大学教職員(※学務部専任職員は参加必須:参加申込み必須) 千代田区キャンパスコンソ教職員

プログラム

- ◆開会挨拶 12:30～12:35
- ◆講演「DX時代のリスキングの時代～個人としての向き合い方～」 12:35～13:30
大嶋 寧子 氏 リクルートワークス研究所主任研究員
- ◆ワークショップ「大学職員のリスキングを考える」 13:40～15:40
- ◆「情報セキュリティマネジメント・リスク管理の取り組みのご紹介」 15:50～16:20
- ◆閉会挨拶 16:20～16:30

【参加申込方法】

- ◆以下のQRコード、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームにてお申込みください。
- ◆学務部専任職員は参加必須ですが、申込手続きも必ず行ってください。
- ◆法政大学職員で学務部専任職員以外の方は、申込前に必ず所属長の許可を得てからお申込みください。
- ◆教員の方も参加可能です(一部のみの参加も可)。



URL:<https://forms.gle/9x6fM32F2b2b3b4w8>
申込締切:2022年8月26日(金)
 ※個人情報厳重に管理し、本イベント以外の目的では使用いたしません。

お問い合わせ 法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター/学務部
TEL:03-3264-4268 E-mail:kyoiku@hosei.ac.jp

